

平成29年10月5日

新病院・新清掃工場建設調査特別委員会

健康福祉部病院管理課

浜松医療センター整備事業及び経営状況報告について

1 経営状況報告

- ・平成29年度患者数等の状況について

資料1

2 浜松医療センター整備事業について

- ・E C I方式に関する意見交換結果
- ・基本設計の主な変更点
- ・新病院の事業費
- ・収支シミュレーション
- ・今後のスケジュール

資料2



## 浜松医療センター整備事業について

### 1 ECI方式に関する意見交換結果

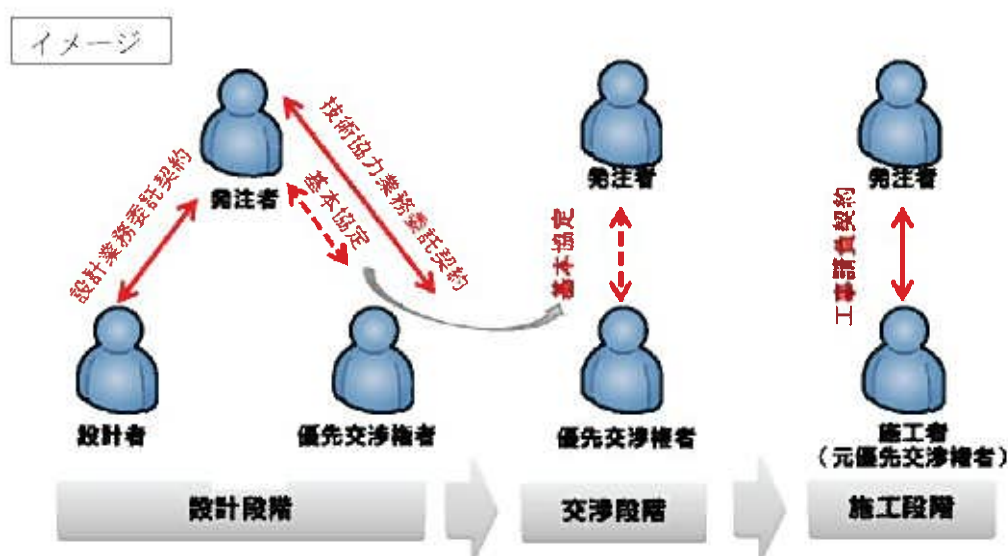
#### (1) 目的

浜松医療センター新病院整備にあたり、技術提案・交渉方式「技術協力・施工タイプ」(ECI方式)採用の利点を最大限に活かすことを目的に、他都市の施設整備でECI方式による発注手続きに参加した経験のある事業者と意見交換を実施した。

#### 【ECI方式】

設計段階から施工者が関与する方式

(施工者と「技術協力委託契約」を結び、設計業務へ技術協力を実施後、施工にあたり見積合わせをして工事契約を行う方式)



図：各段階における契約形態

国土交通省直轄工事における技術提案・交渉方式の運用ガイドラインを加工

#### 【主な効果】

施工面での工夫や特殊技術など施工者のノウハウを実施設計に反映できるため、施工性向上、品質向上、コスト削減等効果の期待が高い。

#### (2) 意見交換の内容

ECI方式の利点(施工性向上、品質向上、コスト削減等)を最大限に活かすために必要な条件設定(提案範囲、参加条件等)など。

#### (3) 意見交換対象事業者

他都市で実施されたECI方式に参加した実績のあるゼネコン(施工予定者として選定されなかった実績を含む。)

#### (4) 参加者の主な意見

##### ①参加条件、委託期間、評価方法等の設定について

- ・参加条件は「厳しいほうが良い」、「ゆるいほうが良い」という意見に二極化  
(E C I方式の参加実績、現場管理者の経験、病院の工事实績、  
通常の官庁工事程度の施工実績など)
- ・提案可能範囲が広いほうが技術力を活かしやすい(構造、基礎、設備に限定しない)
- ・提案作成にある程度の期間(2～4箇月程度)が必要
- ・実施設計の早い段階での発注のほうが提案を活かしやすい
- ・価格評価よりも技術力評価にウェイトを置いた評価とすべき

##### ②設計協力業務の進め方について

- ・構造など、設計に深くかかわる部分の提案が認められるのならば、施工予定者を共同設計者として設計リスクも分担すべき
- ・設計協力期間中は単体企業とし、施工契約までにJ Vを結成するほうがよい
- ・実施設計中は、発注者、設計者、施工予定者の三者間でコスト確認を随時行い、適正な価格設定をすることが必要

##### ③コストについて

- ・構造、設備に関してコスト削減が見込める
- ・設備を含めた一括発注でないとE C Iの効果が低くなる
- ・異業種J V(建築・設備J V)は設備業者が建築リスクを分担しにくく困難
- ・敷地条件の制約等から、同種・同規模の施設よりも割高になる
- ・既存3号館改修の工事費は、現地調査などに時間が必要なためE C I参加時点での積算は困難(工事費を評価対象にされると適正な評価となりにくい)

#### (5) 意見交換を受けて検討した事項

- ・参加社が少数とならないよう、参加条件を設定  
(例) 300床以上、免震構造等の施工実績(E C I方式実績は不問)
- ・提案可能範囲(若干のプラン変更を伴う構造形式の変更、自由提案の設定など)、提案作成期間を検討
- ・地元企業の活用方法について、地元企業活用の評価、設備異業種J Vか下請などを検討
- ・審査項目、評価基準、配点ウェイトなどを検討  
(課題の設定数、V E提案の審査基準、価格評価の設定など)

## 2 基本設計の主な変更点

平成29年3月の新病院・新清掃工場建設調査特別委員会で報告した基本設計について、その後の調整等により、以下の点について変更し、また、今後新たに渡り廊下棟を活用する。

### 主な変更点とその理由

#### (1) 新棟3階のICU病床数増と配置変更等[図1]

- ・ ICUを4床から10床へ増床  
新院長の提案により、収益増加等を見込むもの
- ・ ICUを手術室に隣接した配置に変更  
術後患者を速やかにICUへ搬送するため
- ・ 一般病床を32床から26床に減床  
ICUを6床増床するため(計600床)

#### (2) エスカレータからエレベータへ変更[図2]

- ・ 1、2階の外来用エスカレータ取り止め、エレベータを1基から2基へ  
医療安全の観点(患者転倒リスク)から、エスカレータからエレベータへ

#### (3) 病棟形状の変更(4階～7階)[図3]

- ・ 病棟形状をH型からコの字型へ変更  
スタップステーションから各病室の見通しを配慮(面積及び病床数は変更なし)

#### (4) 渡り廊下棟の活用[図4]

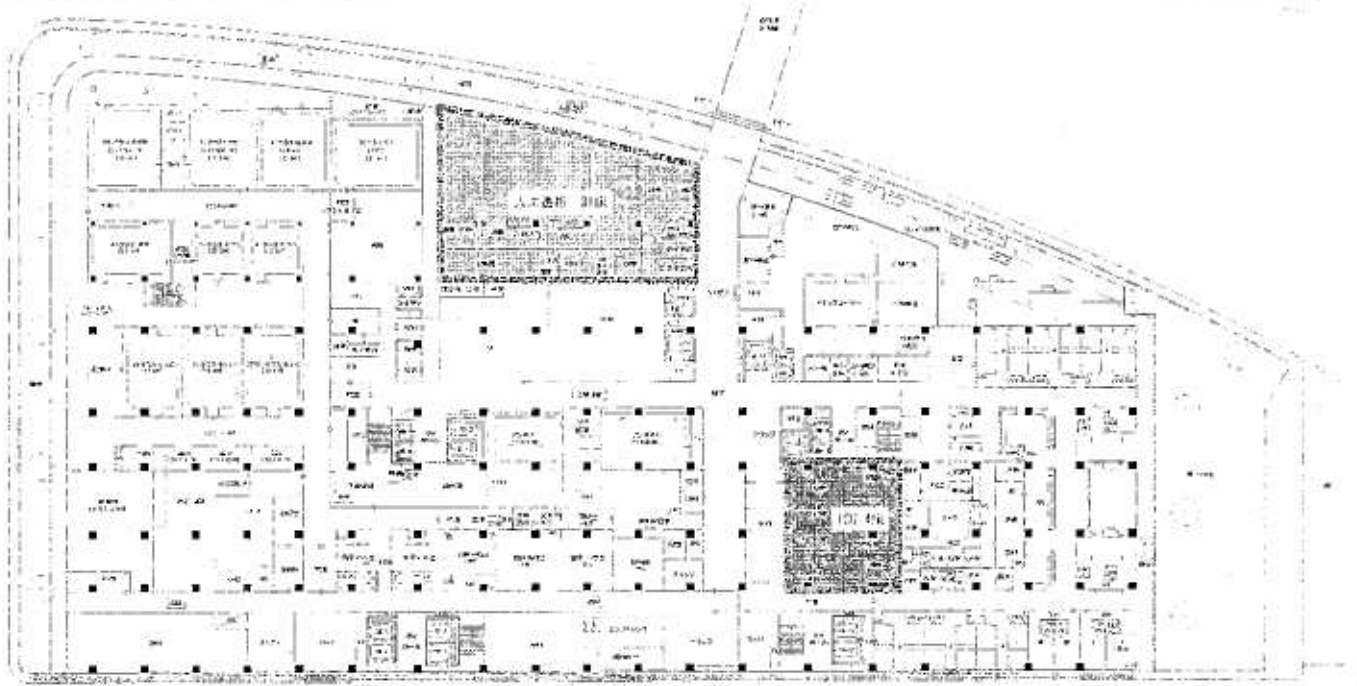
浜松医科大学と学術面における相互協力など、更に連携強化を図るため、渡り廊下棟を活用した上で配置の見直しを行う。

- ・ これまで、渡り廊下棟は医療センターでの利用を想定していなかった。
- ・ 連携強化の内容として、今後、新たに学術面における相互協力、医師・看護師の人材交流や共同研究などを想定していることから、会議室、研修室、実習室などのスペースが必要となる。
- ・ 3号館に上記の受け入れスペースを確保するため、講堂(渡り廊下棟)など既存施設の活用や3号館に予定していた居室を渡り廊下棟に配置するなど見直した上、実施設計に反映する。



變更前(新棟3階)

圖 1

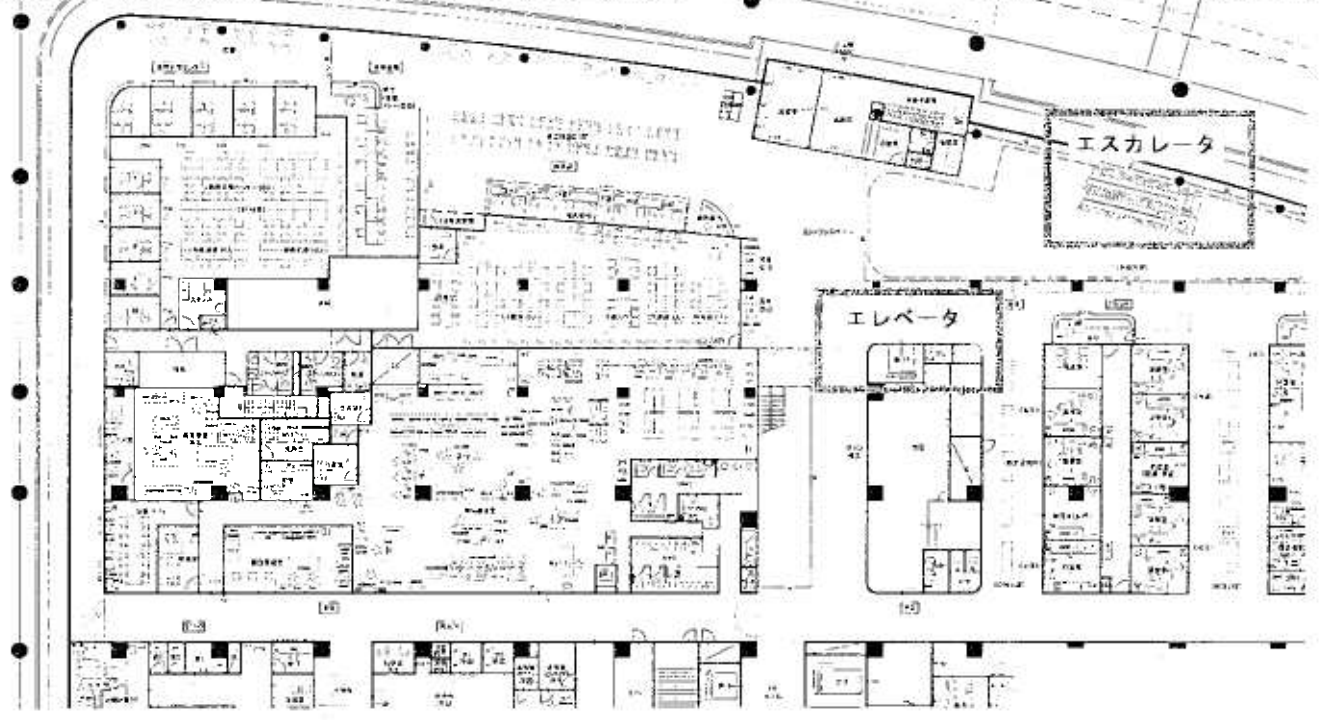


變更後(新棟3階)

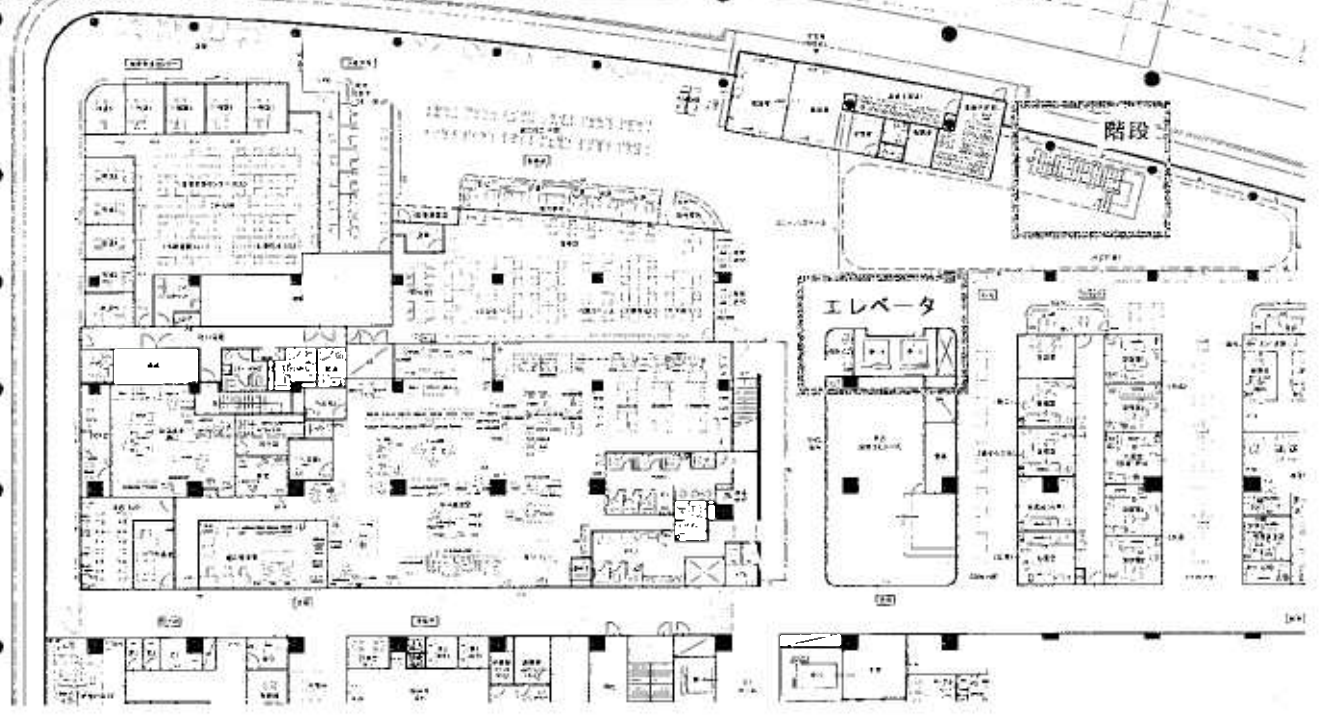


変更前(1階エントランスホール)

図 2



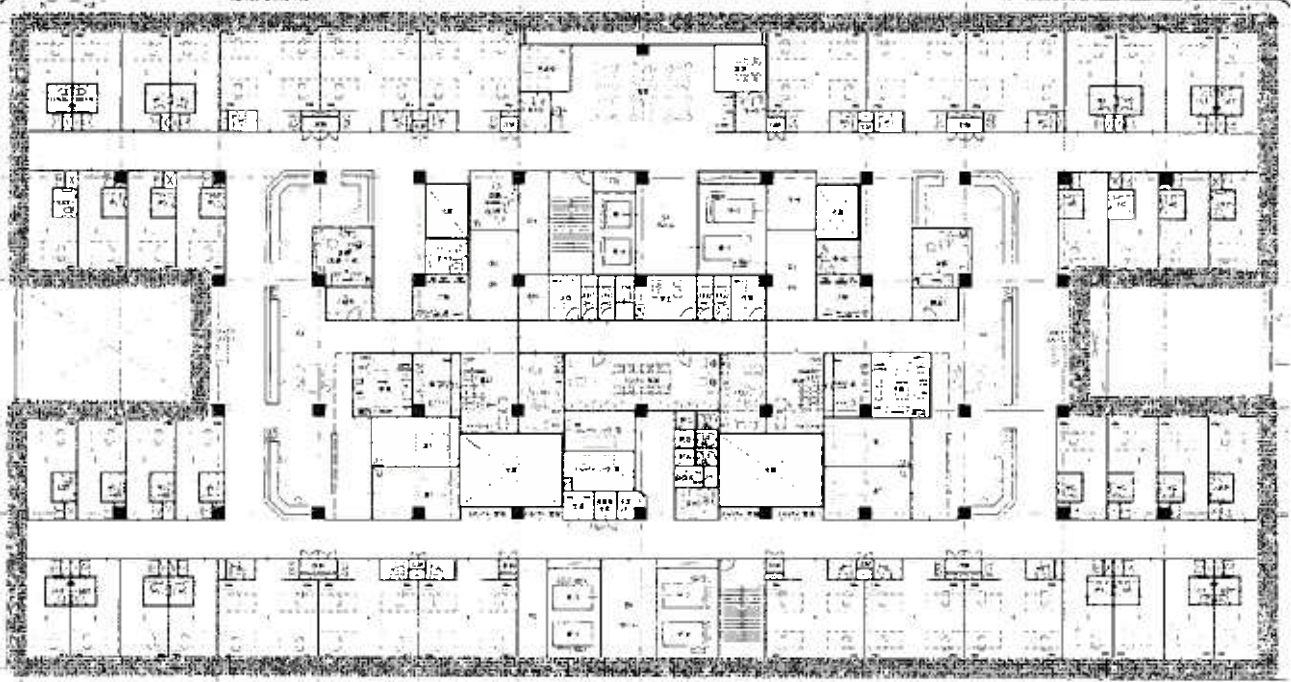
変更後(1階エントランスホール)



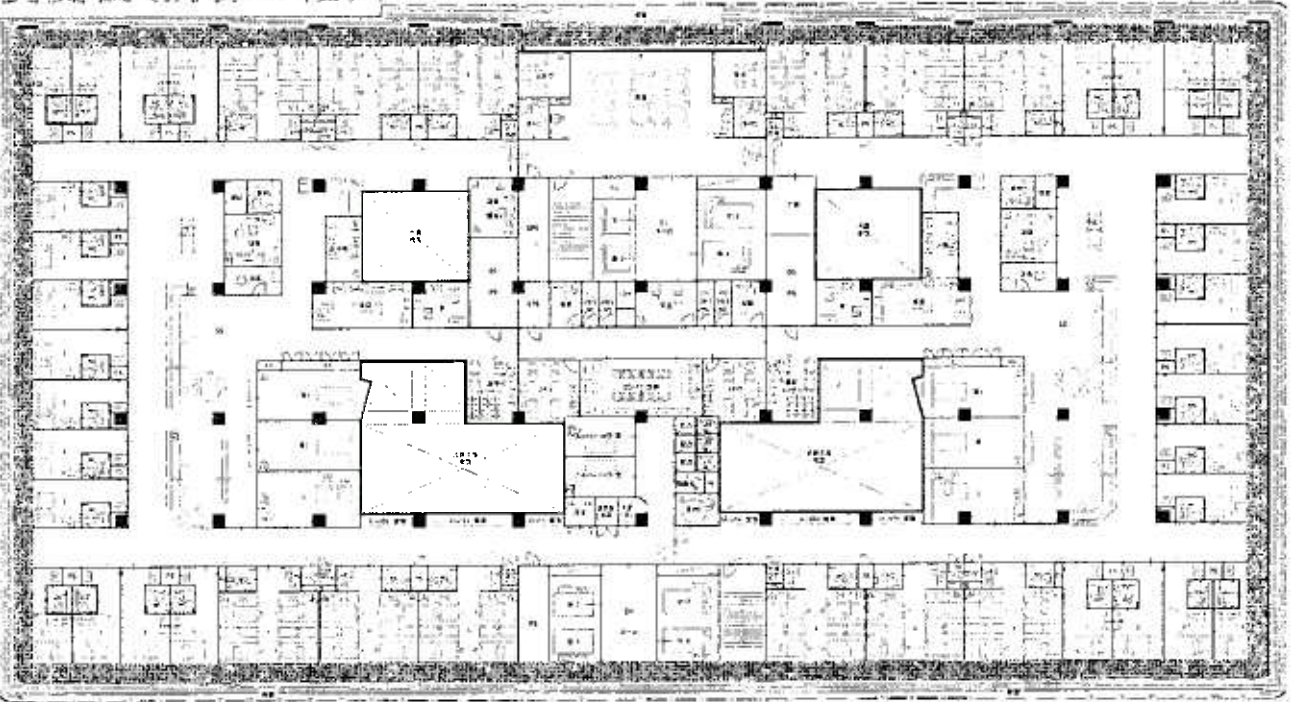


变更前 (病棟 5 階)

图 3



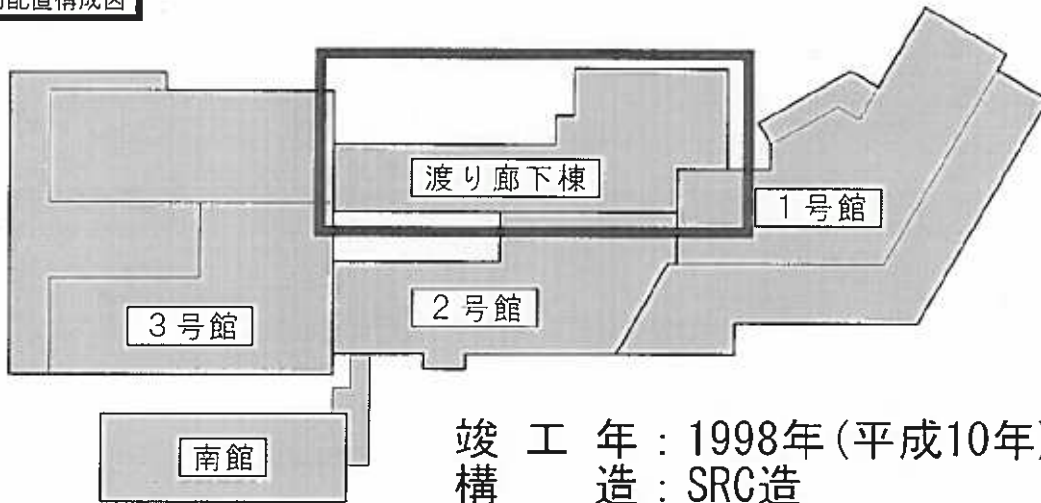
变更后 (病棟 5 階)



医療センター施設概要図

図 4

建物配置構成図



竣工年：1998年(平成10年)  
 造：SRC造  
 階数：地下1階, 地上3階  
 延べ面積：2,324.08㎡

階層構成図

		機械室	機械室	機械室
		機械室	機械室	機械室
PH階(1~3階)		機械室	機械室	機械室
	へりポ			
9階		一般病棟	一般病棟	一般病棟
8階		一般病棟	一般病棟	一般病棟
7階		一般病棟	一般病棟	一般病棟
6階		一般病棟	一般病棟	一般病棟
5階	病歴	小児病棟	パースセンター	周産期センター・NICU
4階	病理	救急病棟・ICU	CCU 管理・事務	医 局
3階	電算・会議室	手 術	講堂・会議室	内視鏡 リハビリ
2階	人工透析	外 来	R I	生理機能検査
1階	感染症病棟 廊下	外 来	総合受付	救急外来・CT
地下1階		放射線治療・厨房	リービス通路	薬局・売店 レストラン
地下2階		機械室		薬安・解剖・備蓄倉庫
	南館	3号館	渡り廊下棟	2号館
				1号館

### 3 新病院の事業費

#### (1) 整備事業費について

新病院建設構想(2015.2) 基本設計精査後  
 17,201百万円 ⇒ 26,615百万円 9,414百万円増

#### (2) 事業費増の主な要因

##### I 本体建設工事

- ・単価アップ 4,208百万円  
 35.2万円/㎡ ⇒ 46.3万円/㎡ 11.1万円増(31.5%)
- ・面積増 926百万円  
 38,000㎡ ⇒ 40,000㎡ 2,000㎡増  
 外來診察室の増、手術室機能強化(面積増/室)など
- ・センター特殊事情によるもの 2,456百万円  
 地盤等敷地条件(南側がけ対策、液状化対策など)  
 法規制等対応(地震力1.5倍、低層階階高、建築面積増、屋上緑化)  
 上空通路、送電線下工事、立体駐車場など

##### II 既存3号館改修工事

- ・面積増 276百万円  
 7,813㎡ ⇒ 9,737㎡ 1,924㎡増  
 地下1階(厨房)を更衣室や倉庫等に改修
- ・追加分 896百万円  
 熱源機器、空調設備更新など

#### (3) 事業費比較表

(10%税込 単位:百万円)

項目	基本設計 精査後 A	基本設計 B	建設構想 C (2015.2)	A-C
I 本体建設工事費	23,778	24,961	15,629	8,149
①+②	21,112	22,063	15,419	5,693
㎡単価(万円)	52.8	55.2	40.6	12.2
建設構想時点からの上昇率	30.1%	35.9%	-	-
① 基本分	18,510	19,461	13,376	5,134
㎡単価(万円)	46.3	48.7	35.2	11.1
建設構想時点からの上昇率	31.5%	38.2%	-	-
災害対策用施設整備等	5,268	5,500	2,253	3,015
② 基本分に含めるもの	2,602	2,602	2,043	559
③ センター特殊事情によるもの	2,666	2,898	210	2,456
II 既存3号館改修工事費	2,283	2,853	1,048	1,235
① 当初計画分	1,387	1,733	1,048	339
② 追加分	896	1,120	0	896
III 設計監理費	554	554	524	30
工事設計関連計	26,615	28,368	17,201	9,414

#### (4) 建設単価について

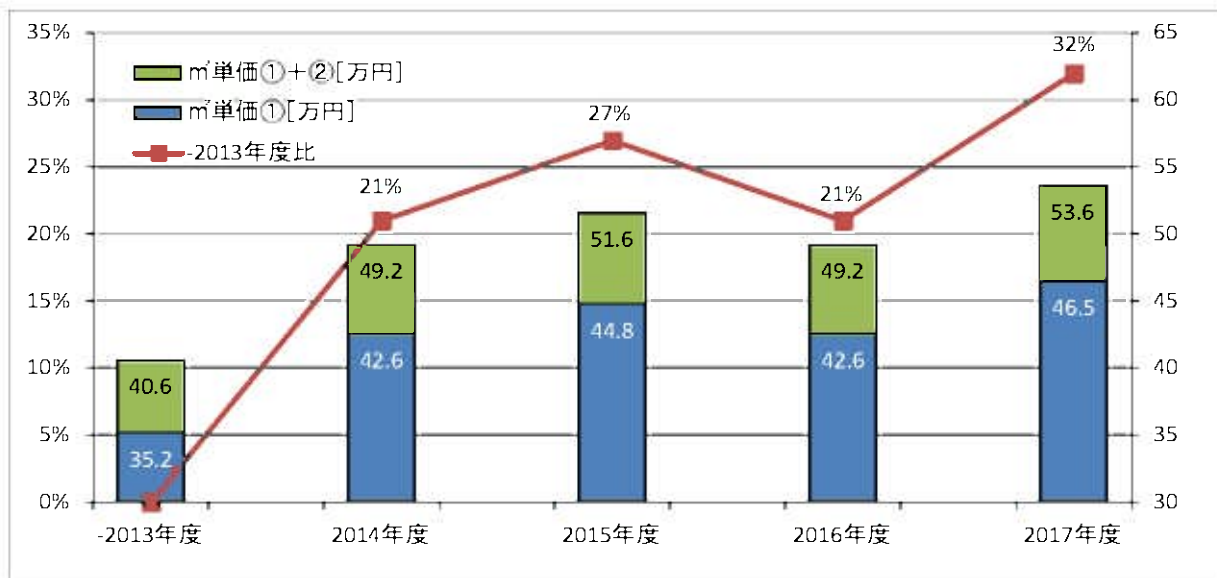
##### ○ 公立病院(延べ5,000㎡以上)における建設単価の伸び率

区分	-2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
前年比	—	21%	5%	-5%	10%
-2013年度比	—	21%	27%	21%	32%

##### ○ 新病院建設構想をベースとした建設単価の推移 (単位:万円 10%税込)

区分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
㎡単価①	35.2	42.6	44.8	42.6	46.5
㎡単価①+②	40.6	49.2	51.6	49.2	53.6

※①=基本分、②=災害対策用施設整備等のうち基本分に含めるもの



##### ○ 他都市の建設単価

◆設計ベース(請負率95%仮定)  
(10%税込)

1) 静岡県立総合病院(2015.11 従来方式)	延べ面積	契約金額	9.212 百万円	44.8 万円/㎡	51.9 万円/㎡
	20,569 ㎡	(10%税込)	49.3 万円/㎡		
2) 小牧市民病院(2016.8 ECI方式)	延べ面積	契約金額	20.050 百万円	44.7 万円/㎡	51.8 万円/㎡
	44,881 ㎡	(10%税込)	49.2 万円/㎡		
3) 伊勢総合病院(2016.10 ECI方式)	延べ面積	契約金額	11.296 百万円	44.3 万円/㎡	51.4 万円/㎡
	25,508 ㎡	(10%税込)	48.8 万円/㎡		
4) さいたま市立病院(2017.3 従来方式)	延べ面積	設計金額	25.880 百万円	48.3 万円/㎡	53.2 万円/㎡
	53,605 ㎡	(10%税込)	53.2 万円/㎡		

※設計金額のため請負率未反映

(5) 総事業費

1) 工事設計関連

(消費税 10%)

項目	金額 (百万円)	備考
I 本体建設工事費	23,778	
基本分	21,112	52.8 万円 × 40,000 m <sup>2</sup> 特殊基礎、免震構造、自家発電など含む
センター特殊事情によるもの	2,666	上空通路、地震力 1.5 倍、建築面積増、液状化対策、 南側がけ対策、立体駐車場など
II 既存3号館改修工事費	2,283	地下 1 階～地上 4 階改修(9,737 m <sup>2</sup> ) 熱源機器、空調更新など
III 設計監理費	554	基本設計、実施設計、工事監理費
<b>A 工事設計関連計</b>	<b>26,615</b>	

2) 医療機器等整備費

IV 医療機器等	5,657	900 万円/床 × 600 床 × 1.1/1.05
<b>B 医療機器等整備計</b>	<b>5,657</b>	

<b>総事業費(A+B)</b>	<b>32,272</b>	
------------------	---------------	--

(関連工事)

(設計・工事監理費別途)

都市下水路切り回し	265	基本設計概算
透析、感染病床仮設	162	基本設計概算
南館、物品保管庫解体	74	基本設計概算



## 4 収支シミュレーション

### (1) 収支シミュレーションの概要

#### ≪病院事業会計（収益的収支）≫

##### 【事業費（建設改良費）】

新病院整備事業 全体事業費 32,272 百万円

##### 【一般会計負担金】

総務省の繰出し基準に基づき政策的医療、企業債支払利息等を負担

##### 【指定管理者負担金（定額分）】

新病院整備事業の建設費及び備品等の減価償却費（家賃相当分）1,715 百万円  
（建設費増分として 30% を控除）

#### ≪病院事業会計（資本的収支）≫

##### 【企業債・建設改良費】

平成35年度 3号館改修の工事費と財源 2,283 百万円

##### 【一般会計負担金】

総務省の繰出し基準に基づき企業債償還金の2分の1を負担

#### ≪医療公社会計≫

##### 【全体】

平成28年度決算ベースで、消費税10%による試算

##### 【入院・外来収益】

入院：病床数600床、入院単価58,700円の入院収益にICU管理料を加算、  
開院1、2年目は、病床利用率の低下を見込む  
外来：1日平均患者数950人、診療単価15,300円で試算

##### 【その他医業収益】

新病院の個室数を151室として試算し、室料差額収益の増を見込む

##### 【給与費、材料費】

給与費：平成28年度実績値から、ICUによる人件費の増を加算  
材料費：平成28年度の医業収益対材料費比率の実績値により試算

## (2) 収支シミュレーション

### ＜病院事業会計＞

#### 【収益の収支】

(単位: 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績値	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
I 病院事業収益	2,871	3,454	4,063	3,761	3,788	3,846	3,290	3,298	3,298	3,298	3,298
うち 指定管理者負担金	1,099	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715
一般会計負担金	1,652	1,605	1,509	1,201	1,187	1,126	1,045	1,041	1,036	1,032	1,027
II 病院事業費用	2,694	3,975	4,029	3,914	3,783	3,733	3,695	3,184	2,911	2,924	2,927
うち 政策的医療交付金	779	779	779	779	779	779	779	779	779	779	779
減価償却費	1,026	2,433	2,481	2,392	2,273	2,236	2,213	1,721	1,485	1,492	1,509
企業債利息	375	361	357	332	320	308	296	283	269	255	240
III 収支差	177	△521	33	△154	4	113	△405	114	387	374	371

#### 【資本的収支】

(単位: 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績値	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
I 病院事業収入	30	2,321	744	751	791	911	436	448	453	457	462
うち 企業債	-	2,283	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般会計負担金	-	38	744	751	791	911	436	448	453	457	462
II 病院事業支出	1,871	3,572	2,590	2,265	2,337	2,496	1,514	1,544	1,658	1,672	1,686
うち 建設改良費	824	2,383	120	220	220	220	300	300	400	400	400
企業債償還金	1,047	1,097	2,368	1,943	2,015	2,174	1,112	1,142	1,156	1,170	1,184
III 収支差	△1,841	△1,251	△1,846	△1,515	△1,546	△1,585	△1,079	△1,096	△1,205	△1,215	△1,225

#### 【近初】一般会計負担金

(単位: 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績値	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
一般会計負担金計	1,652	1,643	2,254	1,951	1,979	2,037	1,480	1,489	1,489	1,489	1,489
収益の収入	1,652	1,605	1,509	1,201	1,187	1,126	1,045	1,041	1,036	1,032	1,027
資本的収入	-	38	744	751	791	911	436	448	453	457	462

#### 【資金】

(単位: 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績値	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
資金残高	1,943	823	961	1,148	1,298	1,362	1,863	2,356	2,749	3,141	3,534

### ＜医療公社会計＞

(単位: 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績値	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
I 医療公社収益	16,000	16,701	16,854	17,104	17,090	17,151	17,119	17,134	17,119	17,166	17,090
うち 入院収益	10,982	11,176	11,339	11,596	11,596	11,627	11,596	11,596	11,596	11,627	11,596
外注収益	3,546	3,547	3,532	3,517	3,503	3,532	3,532	3,547	3,532	3,547	3,503
政策的医療交付金	368	768	768	768	788	768	768	768	768	768	768
II 医療公社費用	16,000	16,919	16,878	17,073	17,062	17,124	17,179	17,111	17,099	17,136	17,092
うち 給与費	8,375	8,410	8,410	8,541	8,534	8,566	8,549	8,557	8,549	8,573	8,534
材料費	3,878	4,028	4,067	4,130	4,127	4,142	4,134	4,138	4,134	4,146	4,127
指定管理者負担金	1,099	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715
III 収支差	0	△218	△24	32	29	27	△60	24	20	31	△1



《病院事業会計》

【収益の収支】

(単位 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績通	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
<b>I 病院事業収益</b>	2,871	3,454	4,063	3,761	3,788	3,846	3,290	3,298	3,298	3,298	3,298
(1) 指定管理者負担金	1,099	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715
定額分	853	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715
変動分	246	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 一般会計負担金	1,652	1,605	1,509	1,201	1,187	1,126	1,045	1,041	1,038	1,032	1,027
政策分	782	777	777	777	777	777	777	777	777	777	777
元割分(1・2号館)	392	297	297	297	285	225	147	147	147	147	147
元割分(3号館)	478	419	309	-	-	-	-	-	-	-	-
刊子分(新病院整備事業分)	-	112	127	127	126	125	122	118	113	108	104
(3) 国庫補助金	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79
(4) 長期前受金戻入	29	53	757	764	804	924	448	481	465	470	475
(5) その他	12	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
<b>II 病院事業費用</b>	2,694	3,375	4,029	3,914	3,783	3,733	3,695	3,184	2,911	2,924	2,927
(1) 給与費	8	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
(2) 経費	155	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124
(3) 政策的医療交付金	779	779	779	779	779	779	779	779	779	779	779
(4) 減価償却費	1,026	2,433	2,481	2,392	2,273	2,236	2,213	1,721	1,465	1,432	1,509
i、2号館	401	361	351	307	214	207	198	180	175	172	171
3号館	112	111	110	110	109	109	107	107	107	106	106
新病院整備事業分	-	1,522	1,622	1,622	1,622	1,622	1,622	1,129	854	854	854
(5) 資産減耗費	232	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
(6) 長期前払消費税償却	46	182	193	192	192	190	187	182	178	179	180
(7) 医療外費用	448	435	431	405	394	382	370	357	343	329	314
企業債利息	375	361	357	332	320	308	296	283	269	255	240
i、2号館	159	97	87	78	68	59	53	48	43	36	33
3号館	216	40	16	-	-	-	-	-	-	-	-
新病院整備事業分	-	224	254	254	252	249	243	235	226	217	208
支払利息(ES)	-	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
消費税ほか	73	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62
(8) その他	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
<b>III 収支差</b>	177	△521	33	△154	4	113	△405	114	387	374	371

【資本的収支】

(単位 百万円)	平成28年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度
	実績通	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
<b>I 病院事業収入</b>	30	2,321	744	751	791	911	436	448	453	457	462
(1) 国庫補助金	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 企業債	-	2,283	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3) 一般会計負担金	-	38	744	751	791	911	436	448	453	457	462
<b>II 病院事業支出</b>	1,871	3,572	2,590	2,265	2,337	2,496	1,514	1,544	1,658	1,672	1,696
(1) 建設改良費	824	2,485	222	322	322	322	402	402	502	502	502
施設改良費	429	2,283	20	20	20	20	100	100	100	100	100
固定資産購入	395	100	100	200	200	200	200	200	300	300	300
リース債務(ES)	-	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102
(2) 企業債償還金	1,047	1,087	2,368	1,943	2,015	2,174	1,112	1,142	1,156	1,170	1,184
i、2号館	547	422	432	442	433	352	241	246	251	256	261
3号館	500	588	447	-	-	-	-	-	-	-	-
新病院整備事業分	-	76	1,489	1,501	1,582	1,822	871	896	905	914	923
<b>III 収支差</b>	△1,841	△1,251	△1,846	△1,515	△1,546	△1,585	△1,079	△1,096	△1,205	△1,215	△1,225

《医療公社会計》

(単位：百万円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
	実績値	開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	開院9年目	開院10年目
医療公社収益	16,000	16,701	16,854	17,104	17,080	17,151	17,119	17,134	17,119	17,180	17,090
入院収益	10,982	11,176	11,339	11,596	11,596	11,627	11,596	11,596	11,596	11,627	11,596
稼働病床数(床)	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
病床利用率(稼働ベース)	85.5%	83.5%	85.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%	87.0%
1日平均入院患者数(人)	512.9	501.0	510.0	522.0	522.0	522.0	522.0	522.0	522.0	522.0	522.0
診療日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365
延入院患者数(人)	187,206	183,366	186,150	190,530	190,530	191,052	190,530	190,530	190,530	191,052	190,530
入院診療単価(円)	58,663	58,700	58,700	58,700	58,700	58,700	58,700	58,700	58,700	58,700	58,700
外来収益	3,546	3,547	3,532	3,517	3,503	3,532	3,532	3,547	3,532	3,547	3,503
1日平均外来患者数(人)	953.8	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0	950.0
診療日数(日)	243	244	243	242	241	243	243	244	243	244	241
延外来患者数(人)	231,775	231,800	230,850	229,900	228,950	230,850	230,850	231,800	230,850	231,800	228,950
外来診療単価(円)	15,299	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	15,300
室料差額収益	236	337	342	350	350	351	350	350	350	351	350
保健予防活動収益	313	313	313	313	313	313	313	313	313	313	313
受取補助金・負担金	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47
政策的医療交付金	368	768	768	768	768	768	768	768	768	768	768
うち医業収益分	254	254	254	254	254	254	254	254	254	254	254
その他医業収益	256	256	256	258	256	256	256	256	256	256	256
受取利息・雑収益	252	257	257	257	257	257	257	257	257	257	257
医療公社費用	16,000	16,919	16,878	17,073	17,062	17,124	17,179	17,111	17,099	17,116	17,092
給与費	8,375	8,410	8,410	8,541	8,534	8,566	8,549	8,557	8,549	8,573	8,534
材料費	3,878	4,028	4,067	4,130	4,127	4,142	4,134	4,138	4,134	4,146	4,127
光熱水料費	247	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302
賃借料	265	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270
減価償却費	261	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266
委託費	1,356	1,461	1,381	1,381	1,381	1,381	1,461	1,381	1,381	1,381	1,381
研究研修費	68	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69
看護師養成費	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
その他経費	433	380	380	380	380	395	395	395	395	395	410
指定管理者負担金	1,099	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715
定額分	853	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715
変動分	246	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
収支差	0	△218	△24	32	29	27	△60	24	20	31	△1

## 5 今後のスケジュール（予定）

### 【委託等】

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| ・平成29年10月～平成31年7月     | 実施設計書の作成     |
| ・平成29年10月～平成30年2月     | E C I業者の選考   |
| ・平成30年3月～平成31年7月      | E C I技術協力の委託 |
| ・平成29年10月～平成30年3月     | E S業者の選考     |
| ・平成30年3月～全E S設備供用開始まで | E S業者と基本協定   |

### 【工事】

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ・平成29年9月～平成30年2月   | 医師住宅解体工事         |
| ・平成29年11月～平成31年3月  | 非常発電機設置工事        |
| ・平成30年10月～平成32年2月  | 都市下水路移転工事        |
| ・平成31年11月～平成35年12月 | 建設工事             |
| ・本体工事              | 平成31年11月～平成34年8月 |
| ・3号館改修工事           | 平成35年1月～平成35年12月 |